

いてふ

一般財団法人 防府消化器病センター

防府胃腸病院 広報誌

防府胃腸病院

2018年11月 第19号



財団法人
防府消化器病センター

地域包括ケア病棟の役割

一般財団法人 防府消化器病センター 防府胃腸病院長 三浦 修

現在、山口防府地区でも、「地域医療構想」が進んでいます。これは、各都道府県における二次医療圏内で、「高度急性期」、「急性期」、「回復期」、「慢性期」ごとの病床数を策定し、それぞれの医療圏の中での必要病床数として適正化するというものです。多くの地域では、「急性期」が過剰であり、「回復期」が足りないという現状の中で、山口防府医療圏では、急性期病床が約420床過剰であり、回復期病床が約350床不足していると言われています。地域の中でどのようなビジョンを持って医療を提供するかということを考えると、各病院がそれぞれの病院機能に応じた役割をきちんと果たすことが原則であり、その機能に応じた病床を確保することが求められています。



今回、当院で半数の機能の転換を進めている「地域包括ケア病棟」は、急性期のあとの回復期機能（ポスト・アキュート機能）を果たすためであり、また在宅や介護施設などからの肺炎、尿路感染症といった急性疾患を直接受け入れる機能（サブ・アキュート機能）も併せ持つものです。

現在の医療提供体制の中で、急性期治療のあと入院期間などの制約から疾患に応じた早期退院はやむを得ない制度であり、医療提供側からも忸怩たる思いも禁じ得ない状況もしばしば経験するところです。患者さん自身の体力や年齢、あるいは手術の大きさなどにより、それぞれの回復状態には差があるはずであり、その状況に応じたきめの細かい、満足できる回復期を過ごしていただくことが最善の医療であると考えています。今後、地域包括ケア病棟で全人的な治療を受けて頂くことは、リハビリテーションも含め在宅復帰までの必要な橋渡しとしての役割を果たしてくれるものと期待しています。

消化器内科 ^{ふじわら}藤原 ^{たかし}崇 医師 着任挨拶

こんにちは。藤原胃腸科内科より、10月から週1回非常勤として勤務させていただいております藤原崇と申します。藤原純子医師の配偶者をしております。出身中学・高校は広島学院（卓球部）。大学は今年、上半期話題になりました、日本大学の医学部卒業。部活は陸上部（ゆるい部活で実際にはジョギングクラブ）でした。内視鏡医になりたかった私は当時消化管で有名であった、がん・感染症センター都立駒込病院の臨床研修医として就職。そのまま常勤医となり、計20年間消化器内科医として勤務しておりました。消化管全般を一応診てはいましたが、がん・感染症に特化した病院だったので上部・下部消化管内視鏡検査を中心とした、特に胃がんの内視鏡診断とESD、HIV感染者の消化管病変を専門としていました。業務的にもとても居心地がよく、また、東京という町自体も楽しいところだったので、もうしばらく駒込病院に居たかったのですが、親が高齢となったため、実家の医院を継ぐために今年4月にどちらかという仕方なく山口に戻ってまいりました（笑）。内視鏡件数は医院を継いで半年ですが、月間件数が約5~7倍に増え、下咽頭・食道・胃・大腸がんなど、入院治療が必要な症例もすでに30例近く見つかっており、たいへん恐縮ながら防府消化器病センターにもすでに数名紹介させていただいていまして、大変お世話になっております。奥さんにも日々いろいろ大変感謝しております。



^{ふじわら} ^{たかし}
藤原 崇 医師

山口に久しぶりに住んでみて一番驚いたことは、魚介類系が新鮮でおいしいものが手に入りやすいこと。東京にはあの有名な豊洲（元築地）市場があるので、すごくおいしくて、いろんな種類の魚が安く食べられる、と思われがちですが、東京では店頭で並んでいる時点で（たとえデパ地下など「ちょっといいもの」が並んでいるところであっても）山口ほどの新鮮さはなく、値段も基本的に高いです。一例ですが、超有名な寿司店の九〇衛（ちょっと食べただけで一人3-4万ぐらい。ホテルオークラ関係で最近話題となっているようです）というところがあるのですが、おそらく山口のみなさんなら「おいしいかもしれないけどこんなに高く、で、この程度なの？」と思われるに違いありません。

話は変わりまして、私の趣味はカブトムシの飼育です。特に世界最重量級のゾウカブト系の飼育を専門種目とし、アクタエオンゾウカブトと、アヌビスゾウカブトの2種類で、大きさの日本記録を持っていました（今はアヌビスのみ）。

取りとめもなく書いてしまいましたが、防府消化器病センターでは、いろいろとご迷惑おかけいたしますが今後ともよろしく願いたします。



「新ギネス誕生」

地域包括ケア病棟開設へ向けて

11月も残り少なくなってまいりました。当院は**12月1日**「**地域包括ケア病棟**」開設を目指して準備を進めています。必要とされる経験を備えた職員も揃ってまいりました。病院長の本誌記文にもありますが、ご自宅や施設への退院へむけて、様々な視点でよりよい地域医療の提供ができるよう、職員協働して尽力して参ります。今後も急性期や救急医療の役割を果たしつつ、急性期との併設として、特色のある病棟を目指したいと考えています。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

クリスマスコンサート

12月21日、今年も昨年と同じ弦楽カルテットの演奏会を企画いたします。
クリスマスにちなんだ曲目や職員とのコラボも思案中です。乞うご期待。



2018年12月21日(火) 13:30~14:00(予定)
防府消化器病センター 1階 リハビリテーションホール

第123回健康公開講座のご案内

講師変更のお知らせ

前月号にてご案内しておりました浦橋先生のご講演は、講師の都合により延期となりました。代わりまして、12月の健康公開講座は、防府胃腸病院長の三浦医師による講演と当院の臨床検査技師による講演の2題で開催いたします。お寒い中にはなりますが、どうぞお出かけくださいませ。

第1部 エコー検査について

～手軽に早期発見～

講師 検査科長 杉山 裕一

第2部 急性胆道炎を考える

～放っておけない胆のう炎、胆管炎とは～

講師 病院長 三浦 修

第123回 健康公開講座

2018年12月14日(金) 19:00開演 アスピラート3階

外来診療予定表

(2018年7月～)

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	松岡	三浦	三浦	松岡	三浦	交代制
	2診	藤原 9:00～	柿本 (1・3・5週)	藤原 9:00～	竹尾		交代制
	3診	竹尾	松岡	竹尾	三浦	松岡	交代制
	5診	柿本	鴨打	柿本	鴨打	鴨打	
	6診	南園	戸田 9:00～	南園		柿本	
午後		戸田	休診	戸田	休診	戸田	休診

診療日時		受付時間	診療時間
平日	午前	8:00～11:00	8:30～
	午後(月・水・金)	13:30～16:30	14:00～
土曜日	午前	8:00～11:00	8:30～

※ 土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。
土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。
出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。
担当医が不在の場合は代替りの医師にて診療を行います。



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL: 0835-22-3339 (代表)

H P: <http://www.hofu-icho.or.jp>

■交通機関のご案内

【電車】 JR 防府駅よりバス 2分 (防府市役所前下車)

または JR 防府駅より徒歩 10分

【バス】 防府市役所前下車

【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10分

★地域医療連携・相談室から★

地域医療連携・相談室では、地域連携や在宅医療の充実を図り、患者様が住み慣れた場所でその方らしく生活できるようサポートいたします。お気軽にご相談ください。

TEL:(0835)22-3339 (代表) FAX:(0835) 25-8754 (直通) 担当: 岡屋・金子・三宅

編集後記

空気が少しずつ冬の色になり、凜とした朝の気配に寝具の中でも気が引き締まる日も増えてきました。「猫のようになやかに」を夢想しつつ「犬のように元気に」出勤前の準備をこなしております。寒暖の差激しく体調に響きやすい季節です。冬支度をしながらも、適度な運動を忘れずに。どうぞ皆様もご自愛くださいませ。 事務局長 栗林 左知